

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信



インスピレーションになろう

2018-2019年度 ガバナー 福田金治

2019.1 / vol.07

国際ロータリー 第2740地区 ガバナー事務所

〒857-0055 長崎県佐世保市湊町2-8 石井ビル6F

TEL:0956-37-2740 FAX:0956-37-2741

E-mail: ri2740sasebo@eagle.ocn.ne.jp



第47回ロータリー研究会（11月20日㈩ 神戸市）

ガバナー ロータリー情報

職業奉仕についての基本的考え方

ポール・ハリスが3名の仲間と、1905年にロータリークラブを創立した際には「奉仕」という考え方は無く気の許せる友人を作り、友人同士が相互扶助で生きていこうということではなかったかと理解しています。

その後、会員、クラブが増えていきますと、クラブ会員同士の相互扶助だけでなく、自分の身近な人々にも相互扶助の輪を広げていったのではないかと思います。この行為が「奉仕」と表現されるようになっていきます。

ロータリークラブの創立に際して、ポール・ハリスは職業の違う3名の仲間を集めて、職業の違う人々が互いの仕事を通じて互いに助け合おうという考え方がありました。この考え方が、ロータリー活動の原点は「職業奉仕」と現在でも言われている理由ではないかと思います。

長年ロータリーは、このポール・ハリスの活動の原点を受け継ぎ「職業奉仕」「個人奉仕」をロータリー活動の根本としてきました。しかし、会員が増え、クラブが増えますと、いろいろな考え方が出てきて「職業奉仕」か「社会奉仕」か、また「個人奉仕」か

「クラブ奉仕」という議論が長年されてきました。

議論の結果、1992年の規定審議会で「クラブ奉仕」も行なって良いという考え方が認められました。

それ以降、今までの「個人奉仕」が「クラブ奉仕」に全面的に変わったと理解され、行動されている方がたくさんいらっしゃいますが、「個人奉仕」がなくなったのではなく、個人奉仕だけでは限界のある活動については「クラブ奉仕」をしても良いとなったのです。この「個人奉仕」の考え方も当然有効です。

個人的考えとしては「ポリオ運動」のように全世界規模で行う活動は全世界のロータリアンが協力しなければ出来ませんが、やはりロータリー活動は会員一人一人の身近な問題に注目して活動していくのが原点

ではないかと思っています。

パストガバナーの佐藤千壽さんも著書や演説で「もともとロータリークラブというのは、仲間同士を助け合おう、自分の町を住み良くしようという身近な問題から誕生したもので、身を捨てて人類を救済しようなどという聖人の集まりではありません。」と述べておられます。

私もこの意見に同感で、まず自分の家族、社員、地域社会の人々に役立つことから始めて、それらの諸問題がうまくいったら、それから先のことに役立つことを始めるべきだと思います。

このように、自分の職業を通じて身近な問題からロータリー活動を行うということが「職業奉仕の原点」ではないかと考えています。

CONTENTS

- ロータリー財団セミナー報告 2
- 米山記念奨学会 国際交流会報告 2
- ガバナー公式訪問クラブ報告 3
- 公式訪問の御礼 6
- 逝去会員、新会員紹介、寄付者紹介 7
- 地区大会ご報告とお礼 8

ロータリー財団セミナー報告

補助金委員長 隅 康二 (佐賀西RC)

財団セミナーが、2018年11月11日(日)に東彼杵町総合会館にて開催されました。千葉ガバナーエレクトはじめ、地区内の各クラブから会長、会長エレクト、R財団担当者、そして地区の財団委員が参集し100名を超える参加者にて会場は満席に近い状態となりました。

財団の各担当委員長6名よりトピックが報告され、また第2グループの神埼RC雪竹様より、今年度行った補助金事業(テーマ:「非行歴のある青少年の社会復帰支援プロジェクト」)の体験が報告されました。クラブとして事業をどのように計画し実行したか、どのように予算組みをして成果をあげることができたかなど報告されました。雪竹様は7月にロータリークラブに入りたての最も若い新会員さんでしたが、この事業を通じてロータリー活動を実感することができたと述べられた感想がとても印象的でした。

財団事業の計画や予算組み、申請には複雑な仕組みがありますが、まずは第一歩を踏み出して体験してみないとなかなか理解が難しいこと、そして次のステップとしては長期的展望に立って、クラブ独自の目標を定めていくことを千葉ガバナーエレクトは勧めておられました(「ロータリー財団章典」に目を通すこともお勧めされました)。

財団委員会では、2019年2月3日に補助金セミナーの開催を予定しておりますが、同セミナーでは申請に関するテクニカルな説明が主となる予定です。早速各クラブにおける次の補助金事業の協議など始めていただければ幸いです。

今後とも財団事業へのご理解・ご協力よろしくお願い申し上げます。



米山記念奨学会 国際交流会報告

米山記念奨学会委員会委員 中嶋 久光 (長崎北RC)

国際ロータリー第2740地区米山記念奨学会では、11月16日(金)に九州文化学園高等学校で、1年生約70人と米山奨学生10人が「国際交流会」を実施しました。「国際交流会」はご存じの方もいらっしゃると思いますが、米山奨学生が民族衣装で学校を訪問し、授業の一環として、訪問先の学生に米山奨学生が自分の国のことや自分の研究などについて、日本語で説明を行い質問を受けたりするものです。

当日は、13時から歓迎式があり、生徒代表の少林寺の演武や、70人の高校生のダンスがあり、米山奨学生並びにロータリアンが歓迎を受けました。若い力は本当に素晴らしいと思いました。本題の交流会ですが、5~8人の10テーブルを10人の米山奨学生が20分×3テーブル移動交代して行いました。最初は、ちょっと緊張していた高校生も1回目の10分くらい経つと、米山奨学生と打ち解けてきて、大きな声と笑顔が目立つようになりました。2回目、3回目はご想像とおりです。米山奨学生は、出前卓話で自信を深めており、PCを使った説明や会話もとても上手になりました。

最後に、米山奨学生のキム・ソネさんがお礼の言葉を述べたのですが、涙・涙が止まりませんでした。みんなと別れるのが辛かったのですね。私たち、米山記念奨学会の地区委員(長)も同様でありました。本当に、九州文化学園高等学校の校長先生、教頭先生並びに担当の先生方、生徒の皆さん、ありがとうございました。言葉では言い尽くせないですが、それぞれの立場の方に、国際的な相互理解が少しでも深まってくれるものと信じています。



ガバナー公式訪問クラブ報告

諫早西RC 9月5日(水)

諫早西RC／会長：草野 恵介 幹事：原田 典範

去る9月5日(水)に、福田金治ガバナー、桑田隆朗ガバナー補佐、増本一也地区幹事を迎えてのガバナー公式訪問例会を行いました。

事前の案内では例会前の懇談会は行わないとのことでしたが、例会の1時間前に来訪され、時間までロータリーについて熱い議論を交わしました。当クラブの「クラブ現況報告&活動計画書」を読み込んでおられて、細かな事柄にまで見解を述べられたことには、ご多忙にもかかわらず、その丁寧さに頭の下がる思いでした。

事前に深いところまで議論していたせいでしょうか、ガバナー公式訪問卓話は、私には概略的な説明が多いと感じてしまいましたが、もちろん入会年次の若い会員にとっては、ロータリーを知るための大きな一助になったことは間違いありません。

特に会員増強についてのガバナーの見解では、当

クラブの育成方針の正しさを確認できたことを感謝いたします。



諫早北RC 9月6日(木)

諫早北RC／会長：芦塚 文美 幹事：辻 登志美

まだまだ暑さが残る9月6日(木)に、福田金治ガバナー、桑田隆朗ガバナー補佐、増本一也地区幹事をお迎えして、公式訪問例会を開催いたしました。お忙しい中、11時半頃には当クラブの例会場L&Lホテルセンリュウに到着されました。

例会に先立ち、当クラブの定款、細則の解釈のこと、出席免除規定のこと、地区大会のことなどを説明していただきました。

例会ではまず、100周年記念の黄金の鐘での点鐘に始まり、当クラブの現状を見ていただきました。そして、ガバナー卓話では、今年度の国際ロータリーのテーマ「インスピレーションになろう」の解釈やRIの運営方針のロータリーDAY、マイロータリーのことなどを説明され、それから、地区の運営方針を説明していただきました。とくに退会防止が大事と教えていただきました。例会終了後の写真撮影をして、無事公式訪問が終わりました。

ほんとうに、有意義な時を過ごせました。今後のクラブの運営に生かしていきたいと思います。

ありがとうございました。



ガバナー公式訪問クラブ報告

諫早RC 9月7日(金)

諫早RC／会長：前田 博明 幹事：上野 英剛

9月7日(金) 福田金治ガバナー、桑田隆朗ガバナー補佐、増本一也地区幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

懇談会は諸事情のため予定していなかったのですが、ご配慮いただき例会まで少し余裕をもってお越しいただきました。

例会に先立ち懇談を交え、クラブの現況・運営方針・活動等を報告させていただきました。ガバナーからはクラブ定款・細則等について、当クラブのために作成された資料をもとにご指導いただきました。ガバナー年間行事予定から鑑みれば、地区運営への熱意が伝わり大変感銘を受けました。

例会は昼食の諫早の『鰻-うなぎ』を、訪問の皆様と当クラブメンバーでいただきつつの交流・懇親となりました。ガバナー卓話ではプロジェクター等を用いず、ガバナー自らが当クラブメンバーと向かい合い、地区運営方針等を説明をされました。それにより地区リーダーとの距離を縮め、非常に良かったと

感じました。

また例会後も地区行事等の在り方などの話に花が咲き、誠に勝手ながら訪問いただきました皆様に“親近感”をいただいたガバナー公式訪問となりました。

まだ当分暑さが続くかと思われませんが、お身体に充分ご留意され無事に公式訪問を終了されることをご祈念申し上げます。



長崎北RC 9月10日(月)

長崎北RC／会長：竹山 直樹 幹事：寺田 治之

9月10日(月)に福田金治ガバナー、瀬崎陽三ガバナー補佐、増本一也地区幹事をお迎えしてガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

例会前の懇談の中で、11月16日、17日の地区大会のお話がありました。

できるだけメンバー手作りで準備をなさっており、本会議前の充実したエクスカーション、そしてランチまで用意しておもてなしを考えておられること、また青少年育成を重視されたハワイ短期留学の記念事業の計画のお考えを、あらためて知り感銘を受けました。

卓話の地区方針説明のなかで、会員増強に繋がるであろう具体的な退会防止策、広報、またその発信の重要性についてわかりやすくご説明がありました。

当クラブでもそのような活動を強化して参りたいと思います。

ご来訪にあらためて感謝申し上げるとともに、益々のご活躍をお祈りいたします。



ガバナー公式訪問クラブ報告

長崎西RC 9月11日(火)

長崎西RC／会長：川瀬 隆史 幹事：山田 吉盛

9月11日(火)、夏の炎暑が残る中、福田金治ガバナー、江口正則第9グループガバナー補佐、増本一也地区幹事のお三方にご訪問いただき、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

例会前、30分以上も早く到着され、会長、会長エレクト、幹事との懇談の時間を多く取っていただき、その中で、多くの示唆をいただきました。

1点は、活動計画書に盛り込まれた内容の精査と、変化を加えながらの活動の大事さ。

1点は、活動計画書の中に、友好クラブとの歴史や交流を盛り込まれたら、もっと充実出来ると思うとのアドバイス。

また、地区大会への参加と、その大会を、出来るだけ作業委託を減らし、会員手作りの分野を多くし、経費削減を目指しているとのお話もありました。

会員の伸び悩みや、高齢化、出席率の改善等々、多くの問題、課題を抱えながら進む我がクラブが、

どのようにそれらを解決していくかへの指針をいただいた公式訪問でした。

福田ガバナー一行のご来訪に感謝の念を深く込め、御礼申し上げます。



長崎北東RC・長崎琴海RC 9月12日(水)

長崎北東RC／会長：久保田和典 幹事：田中 徳之
長崎琴海RC／会長：友岡 純一 幹事：西村 潮満

9月12日(水)に福田金治ガバナー、江口正則ガバナー補佐、増本一也地区幹事をお迎えして、長崎琴海ロータリークラブ様との合同公式訪問を開催いたしました。

まずは例会前に、例会場である長崎新聞を表敬訪問し、才木邦夫長崎新聞社社長(長崎ロータリークラブ)を囲み懇談会を行いました。(その時の取材内容は9月12日の長崎新聞に掲載されております。)

その後、例会には才木社長も参加いただき、福田ガバナーより、RI会長の新年度運営方針(インスピレーションになろう等)・地区運営方針の説明(財団への寄付等)・会員増強(会員歴の短い方への指導方法により退会防止等)・地区主催事業の説明(地区会等)の詳細でわかりやすい説明をしていただきました。当クラブでも退会防止にも力を入れていると

ころでしたので、大変参考となりました。

福田ガバナーをはじめ地区の役員の皆様方のご来訪に感謝するとともに、今後もロータリー活動を通じ社会に貢献できるように決意を新たにいたしました。

(文／長崎北東RC)



ガバナー公式訪問クラブ報告

長崎出島RC 9月14日(金)

長崎出島RC／会長：安達健太郎 幹事：藤岡 秀則

去る9月14日(金)、福田金治ガバナー、増本一也地区幹事、瀬崎陽三ガバナー補佐をお迎えして、公式訪問例会を開催いたしました。

例会前の30分程度の懇談の中で、当クラブ運営についてのいくつかのご助言もいただき、当クラブの定款細則について殊の外お褒めの言葉も頂戴いたしました。また、ここ数年の会員増強の成果についてご評価をいただきました。

福田ガバナーによる例会卓話では、今年度のRIテーマである「インスピレーションになろう」の考え方の説明、またどのクラブにも共通する課題である会員増強について、(1)新会員研修会を毎年必ず実施する。(2)新会員にはカウンセラーを付けて、最低2年はその方に新会員を指導していただく。そうすることで新会員にクラブに馴染んでいただくことで会員数を安定的なものにできる旨のご指導がありました。その他11月に開催される地区大会のプロモーションなど内容豊富なものでありました。

当クラブを最終として長きに渡る公式訪問例会が終了するということで、ガバナー及び地区幹事も一息つかれていたようでしたが、また当クラブも瀬崎ガバナー補佐訪問例会～当クラブ20周年記念例会祝賀会～そして今回のガバナー公式訪問例会と怒涛の三週間が終了し、また次の目標に向かって会員全員で取りくむ所存です。

今後ともご指導をよろしくお願い申し上げます。



公式訪問の御礼

新年を迎えられ、会員の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年度のガバナー公式訪問は、7月10日神埼・佐賀空港RC合同公式訪問を最初に、9月14日長崎出島RCへの公式訪問で37回の公式訪問が終了しました。年度初めのお忙しい中、歓迎していただき誠にありがとうございました。

本年度は2クラブ及び3クラブ合同の公式訪問にさせていただいたクラブがございました。理由は、公式訪問の際お話ししましたが、DLP(地区リーダーシップ・プラン)の導入で、ガバナー補佐がクラブ協議会にガバナーの代わりに出席するようになったことと、ガバナーの負担軽減です。このような理由とはいえ、合同公式訪問にさせていただいたクラブには、会場設営や準備など大変ご迷惑をおかけいたしましたこと、深謝しますとともに、ご協力に感謝申し上げます。

さて、地区大会も例年とは少し形を変えた内容でございましたが、皆さまのおかげをもちまして無事終了することができ、地区運営も残すところ、あと半年となりました。

今後は各グループのIM、クラブの周年行事をはじめとした地区関係行事等ございますが、少しでも会員の皆様方のお役に立つよう精一杯頑張ってまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

国際ロータリー第2740地区

ガバナー 福田 金治

逝去会員 謹んでご冥福をお祈り申し上げます



西浦 隆洋 会員 (佐世保西RC)
 逝去日：2018年10月8日 (享年63歳)
 入会日：2004年9月7日
 勤務先：(株)ダイヤ 代表取締役
 クラブ役職：2007～2008年度 幹事
 2011～2012年度 会長
 2014～2015年度 幹事
 2018～2019年度 幹事



小坂 信春 会員 (大村北RC)
 逝去日：2018年10月30日 (享年70歳)
 入会日：1999年5月19日
 勤務先：おべんとう&kitchenみしま 代表
 クラブ役職：2010～2011年度 幹事
 2012～2013年度 会長

新会員紹介 ～10月入会～

私たちの新しい仲間になりました
 方々をご紹介します。

小城RC	牛津RC	佐賀北RC	鹿島RC	HTB佐世保RC	諫早北RC	長崎中央RC
角崎 龍介 君 法律事務所 かくすけ 弁護士	原田 烈 君 (株)バイオテックス 代表取締役	豆田 伊左徳 君 まめだ司法書士事務所	馬場 謙吾 君 株式会社 カシマ美装 代表取締役 会長	吉田 彬 君 (株)アップルドクター 会長	板部 隆一 君 株式会社九州ガスホールディングス 取締役	藤井 智明 君 有限会社 亜紗 代表取締役

寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会からの
 の認証および表彰者リストに基づき寄
 付者をご紹介します。
 ご厚意に深く感謝申し上げます。

◆ロータリー財団 (10月)

■マルチプル・ボール・ハリス・フェロー

氏 名	レベル	クラブ名
藤井 良介	5	佐世保北
古賀 新二	1	佐世保北
岩永 正人	4	長 崎
川原 強	2	長 崎

◆米山記念奨学会 (10月)

■米山功労者マルチプル

氏 名	回数	クラブ名
田中丸善保	8	佐 世 保
古賀 良一	7	佐世保南
村瀬公一郎	2	佐世保東
藤井 良介	9	佐世保北
湯口 純二	4	佐世保北
松田 信哉	2	佐世保北
三谷 秀和	2	佐世保北
天本 俊太	5	長 崎
岩永 信昭	7	長崎北東
三宅 敏彦	6	長 崎 西
崎永 剛	4	長 崎 北

■米山功労者

氏 名	クラブ名
田崎 賢一	大 村 北
野田 孝則	大 村 東
市川 清史	長 崎 西
高谷 忠	長崎出島
安達健太郎	長崎出島
光富 智子	長崎出島

◆米山記念奨学会 (10月)

■メジャードナー

氏 名	回数	クラブ名
堤 和之	37	佐賀大和
福田 俊郎	25	佐世保北

第2740地区 2018年10月出席報告

2018年7月1日クラブ数 57 RC
 2018年10月平均出席率 81.7%
 2018年7月1日会員数 2,236 名
 (うち女性会員 91 名)

2018年10月末日会員数 2,257 名
 (うち女性会員 95 名)
 2018年10月入会者 7 名
 2018年10月退会者 7 名

国際ロータリー第2740地区 地区大会 ご報告とお礼

地区大会実行委員長 橘高 克和



2018年11月16日(金)・17日(土)、細谷伸夫RI会長代理ご夫妻をお迎えして、国際ロータリー第2740地区 地区大会を開催いたしました。

16日は佐世保カントリー倶楽部にて記念ゴルフ大会を開催。105名のご参加をいただき、難コースを楽しんでいただけたことと思います。当日夜は、ホテルオークラJRハウステンボスにてRI会長代理歓迎晩餐会を開催いたしました。

翌17日は、エクスカーションとして海上自衛隊 護衛艦「あきづき」見学と、九十九島遊覧船クルーズを実施。特に「あきづき」の見学会には140名のご参加があり、その関心の高さに驚きました。

今回初の試みとして、昼食(佐世保ならではの佐世保バーガーと海軍カレー)を提供させていただきました(合わせて約1,100食ご提供)。

本会議前の海上自衛隊 佐世保音楽隊による記念コンサートでは、青少年460名を含め1,120名の観客が、そのプロの演奏に魅了されました。

13時30分より本会議を開始。細谷伸夫RI会長代理に「ロータリーは何故必要とされるか、奉仕の理想は思いやりの心」の演題でご講演いただき、RIテーマ「インスピレーションになろう」とは、「思いやりの心を育て、自分に家庭に地域に、そして世界に広めていくことだ」というお話をいただきました。

今大会の記念事業として、高校生を対象としたハワイ短期留学プログラムを計画いたしました。選ばれた14名の高校生を壇上で表彰、その代表者に応募時の作文を発表してもらいました。彼らには、3月末からの留学を機会に大きく世界に羽ばたいてほしいと願っています。本会議終了後、会場をホテルオークラJRハウステンボスに移し、全員着座による大懇親会を開催。予定どおり19時30分に全ての行事を無事終了することができました。

あらためて、第2740地区の会員の皆様、とりわけ、エイド役を引き受けてくださったパストガバナー 岩永信昭様ご夫妻、そしてパストガバナー、役員の皆様に心より感謝申し上げます。



第2740地区ガバナー 福田 金治



本会議風景



RI会長代理 細谷 伸夫 氏